

はじめに

大多数の人が、「英検」準1級対策の勉強している途中で「こんな単語を覚えて役立つだろうか」「あまりにも難しすぎるが自分は合格できるのだろうか」といった疑問を持つことでしょう。それに追い打ちをかけるように、外野からは「そんな難しい英語、使わないから覚える必要なんてないよ」などという無責任な声が聞こえてもくるかもしれません。

でも大丈夫！

準1級レベルの単語は、英字新聞やペーパーバック、仕事用の資料やメールを読む際に当たり前のように出てきます。「使わない」「知らない」ところか「知らないとにっちもさっちもいかない」単語の宝庫なのです。そして、語彙さえしっかり増やしておけば、「英検」の長文は構文的には非常にシンプルに書かれているため、必ず読み取れるようになります。

ライティング・リスニング・スピーキングにも決まった傾向があるので、それなりの対策が存在します。本書を使ってしっかりと身につけてください。

晴れて「英検」準1級に合格したら、「英文がラクに読める」「英文メールを時間をかけずに書けるようになった」「英語を聞くのも話すのもずいぶん楽しくなったな」と心から実感し、「Dream Killerの言うことに負けずに努力してよかった！」と思えることでしょう。

本書を使用される皆さんが、一日も早く合格の栄冠をつかまれることを心より願いたします。

和泉有香 (Joy)

学習を始める前に

実用英語技能検定(以下「英検」)は、日本で最も受験人口の大きな英語検定試験です。とりわけ、2020年度から大学入試のシステムが変わり、英語に4技能(リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング)の力を測る試験が導入されることが決まって、いっそう「英検」への注目度が高まりました。

中でも準1級の合格実績は、特に語学力を重視する大学の国際系学部・学科などの一般入試・推薦入試・AO入試を突破するうえで、大きな鍵となりつつあります。また、卒業後の就職の際にも武器になると言われています。

準1級の試験では、最難関である1級の一步手前の、高度な英語力が求められます。このレベルに届くには、中学校・高校で積み上げてきた英語の知識やスキルを完全に使いこなせるものにしたうえで、さらにもう一段上の力を身につけるのが理想です。そのために何よりも重要なのは、4技能と、それを裏付ける語彙力・文法力をバランスよく会得することでしょう。

本書は、準1級の合格を目指す人が、10日間という短期間で効率よくバランスの取れた学習を進め、最大限の効果を上げられるように構成されています。ここで示されている学習メニューを着実にこなすことで、英語力が向上するだけでなく、何をどのくらい、どんなペースで学習すればいいかを体で覚えることができるはずです。

まずは本書をとことん使いこなし、確実に「英検」準1級合格を手中に収めてください。しかし、準1級に合格すれば、それで英語学習が完了するわけではありません。皆さんが、本書を通じて体得したスキルや知識、そして学習ノウハウを生かし、さらなる大きな目標へとまい進することを願っています。

編著者：岡本茂紀
(株式会社オフィスLEPS)

CONTENTS

はじめに・学習を始める前に 2/3

本書の構成と使い方 6

「英検」準1級の試験とは？ 9

DAY 1 25

- 1 単語・熟語編 動詞①
- 2 文法編 時制①
- 3 英作文編 ストラテジー①②
- 4 長文編 ストラテジー①
- 5 リスニング編 Part 1 攻めポイント①・質問パターン別トレーニング①②

DAY 2 55

- 1 単語・熟語編 動詞②
- 2 文法編 時制②
- 3 英作文編 ストラテジー③④
- 4 長文編 ストラテジー②
- 5 リスニング編 Part 1 攻めポイント②・質問パターン別トレーニング③④

DAY 3 83

- 1 単語・熟語編 句動詞①
- 2 文法編 仮定法
- 3 英作文編 ストラテジー⑤⑥
- 4 長文編 ストラテジー③
- 5 リスニング編 Part 1 攻めポイント③・質問パターン別トレーニング⑤⑥

DAY 4 111

- 1 単語・熟語編 句動詞②
- 2 文法編 分詞
- 3 英作文編 ストラテジー⑦⑧
- 4 長文編 ストラテジー④
- 5 リスニング編 Part 2 攻めポイント①・テーマ別実践トレーニング①②

DAY 5 139

- 1 単語・熟語編 名詞①
- 2 文法編 助動詞
- 3 英作文編 ストラテジー⑨⑩
- 4 長文編 ストラテジー⑤
- 5 リスニング編 Part 2 攻めポイント②・テーマ別実践トレーニング③④

英検®および英検CBT®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。

このコンテンツは、公益財団法人 日本英語検定協会の承認や推奨、その他の検討を受けたものではありません。

DAY 6 167

- 1 単語・熟語編 名詞②
- 2 文法編 接続詞・接続副詞
- 3 英作文編 設問形式別実践トレーニング①
- 4 長文編 模擬問題① 大問 2(A) 型
- 5 リスニング編 Part 2 聴きポイント①・テーマ別実践トレーニング⑤⑥

DAY 7 193

- 1 単語・熟語編 形容詞
- 2 文法編 関係詞
- 3 英作文編 設問形式別実践トレーニング②
- 4 長文編 模擬問題② 大問 2(B) 型
- 5 リスニング編 Part 2 聴きポイント④・テーマ別実践トレーニング⑦⑧

DAY 8 219

- 1 単語・熟語編 be + 形容詞
- 2 文法編 動名詞
- 3 英作文編 設問形式別実践トレーニング③
- 4 長文編 模擬問題③ 大問 3(A) 型
- 5 リスニング編 Part 3 聴きポイント①・問題パターン別実践トレーニング①②③

DAY 9 245

- 1 単語・熟語編 副詞
- 2 文法編 不定詞
- 3 英作文編 設問形式別実践トレーニング④
- 4 長文編 模擬問題④ 大問 3(B) 型
- 5 リスニング編 Part 3 聴きポイント②・問題パターン別実践トレーニング④⑤⑥

DAY 10 273

- 1 単語・熟語編 副詞句・その他
- 2 文法編 比較
- 3 英作文編 設問形式別実践トレーニング⑤
- 4 長文編 模擬問題⑤ 大問 3(C) 型
- 5 リスニング編 Part 3 聴きポイント③・問題パターン別実践トレーニング⑦⑧⑨

▶ 攻略のポイント

最初の2題の英文は、通例いずれも3段落で構成されています。3題目の英文は4段落で構成されているのが普通です。設問は、原則的に各段落に対して1問ずつ設けられています。つまり、段落単位で内容をつかむ、いわゆるパラグラフリーディングの読み方が求められていると言えます。幅広い語彙力の拡充とともに、パラグラフリーディングのテクニックを身につけることが大切です。

準1級の問題形式②

ライティング

筆記のリーディングのパートが終わると、大問4としてライティングのパートが設けられています。ただし、必ずしも、リーディングの問題を全て解き終えてからライティングに取りかからなければならないわけではありません。戦略的に、ライティングの解答を先に終えるやり方もありえます。以下に、過去に実際に出題された問題を例として挙げながら、ライティングの詳細を説明していきます。

English Composition

- Write an essay on the given TOPIC.
- Use TWO of the POINTS below to support your answer.
- Structure: introduction, main body, and conclusion
- Suggested length: 120-150 words
- Write your essay in the space provided on Side B of your answer sheet.

Any writing outside the space will not be graded.

TOPIC

Agree or disagree: Japanese companies should hire more foreign workers

POINTS

- *Aging population*
- *Costs*
- *Cultural differences*
- *Globalization*

(出典:「英検」準1級2018年度第3回・大問4)

注意すべきポイント

- * TOPIC に関して意見（賛否）を明示し、その理由を2つ挙げる。
- * 語数の目安は120～150語。
- * POINTS に挙げられた語句（アイデア）のうち、少なくとも2つを必ず使う。
- * TOPIC には、Agree or disagree の形で賛否を問うものと、Do you think ... などの形で考えを問うものがあるので、問われたことに的確に答えた文章を書くように心がける。
- * TOPIC から外れたことを書くと0点とされてしまうことがあるので要注意。

採点の基準となる観点

観点	採点基準	対応策
内容	課題で求められている内容が含まれているか	まず自分の意見を明確に述べる。そして、その理由を2つ書く。また、説得力のある文章にするために、理由に関する追加説明や具体例を書く。
構成	英文の構成や流れが分かりやすく論理的であるか	指示文に示された introduction (導入) → main body (本論) → conclusion (結論) という3部構成を守りながら、ディスコースマーカ―などを効果的に用いて、伝えたい情報を論理的に示す。
語彙	課題にふさわしい語彙を正しく使えているか	文章が単調にならないように、同じ単語や表現をあまり繰り返さず、さまざまな語句に言い換えながら、豊かな表現力を発揮することを心がける。
文法	文法を正しく使えているか、文構造に多様性があるか	基本的な文法に間違いがないことを確認しながら、なるべく多くの構文や文のパターンを駆使して、完成度の高い文章の作成を目指す。

時間配分と解答のコツ

準1級の筆記の解答時間は90分です。大問1～3（リーディング）をできるだけ早く終わらせて、ライティングの時間を確保することが大切です。あるいは、真っ先にライティングに取り組み、書き終えてからリーディングに戻るという方法もあります。時間配分の目安は、大問1～3に65分、大問4のライティングに25分といったところでしょう。さらにこの25分間を、次のような内訳で使うのが有効です。

① 問題を読み、書く内容を考える：3～5分

この間、考えをまとめるために、問題用紙の余白にメモを取ると効果的です。

② 英文を書く：15分

①のメモに基づいて、論理的な文章を書き進めます。

③ 書き終えた文章を見直す：3～5分

文法や単語のつづり、文章全体のロジックなど、多角的に自分の文章を推敲しましょう。必ず何らかのミスがあるはずです。

準1級の問題形式③

リスニング

リスニングテストはPart 1～3の3つに分かれています。筆記試験の時間が終わるとすぐに放送が流れ、リスニングテストに移ります。英文は全て1回しか読まれません。聞きながらメモを取ってもかまいません。重要な箇所はメモを取りながら、できるだけ聞き落とさないようにしましょう。

Part 1 会話の内容一致選択問題 12題 12問

Part 1は、男女による5～7ターンの会話を聞き、設問に解答するものです。設問文も音声です。問題用紙には、選択肢だけが印刷されています。